

DWIBS ドック Q&A

医療法人洗心会 児嶋病院

Q：PET-CT と比較して精度はどの程度ですか

A：CT 検査と MRI 検査にそれぞれ得意・不得意があるように PET-CT と DWIBS の精度を同列に比較することはできません。

どちらも全身がん検査として有用ですが、DWIBS は被ばくの心配がありません。無症状の癌をピックアップしていくのが目的です

Q：対象疾患に乳がん・子宮がんがあるが、DWIBS ドックを受ければ、マンモグラフィや子宮頸がん検査は必要ないですか

A：検査方法が違いますので、マンモグラフィ等を併用すると精度が高くなります。子宮頸がん検査も同様に併用をお勧めします。

Q：DWIBS ドックを受ければ、一通りのがん検査として安心ですか

A：どの画像検査も同じですが、「今回撮影した画像上は異常がない」ということで、将来を保証するものではありません。

Q：DWIBS ドックとどの検査を組合わせて受ければいいですか

A：DWIBS 〔+胸部 CT〕+胃カメラ+脳ドックをお勧めします。

Q：同じように全身がん検査なのに PET-CT に比べ DWIBS は検査料金が安い、なぜですか

A：PET-CT は、検査薬（放射性同位元素）が高額かつ専用装置が必要ですが、DWIBS は通常の MRI で使用する装置で検査ができるため、価格を抑えることができます。

Q：線虫がん検査でリスクを指摘されたため、受診を検討しています

A：リスクを指摘された原因が絶対に分かるとはいえませんが、一つの目安にはなると考えます。

Q：体内に金属（人工関節、ボルト、プレート、歯列矯正の器具等）が入っていますが、検査できますか

A：ペースメーカーが入っている場合は当院の規定でできません。

その他の金属（チタンなど）では可能なものもあるので金属を入れた医療機関で MRI を受けて大丈夫か確認してください。ステント手術後 2 ～ 3 ヶ月も同様に撮像できません。

検査可能であっても、体内金属の周辺で画像が歪んでしまうおそれがあります。

そのため、金属周辺の正確な評価ができない場合があることをご了解の上、検査をお受けください。

Q：持続グルコース測定器を装着していますが、検査できますか

A：電池やセンサーが磁場に影響され故障する恐れがありますので、装着したまま検査できません。取り外してお越してください。

Q：入れ墨・タトゥー・ネイルアート（マニキュア、ジェルネイル等）をしたまま検査できますか

A：入れ墨・タトゥーについては、火傷・変色の恐れがあります。ご了解の上、検査をお受けください。

ネイルアートは、材料に鉄粉や金属成分が含まれていることがあり、火傷・MRI 装置故障の恐れがありますので、つけたまま検査できません。（手・足）

Q：一時染毛料（増毛パウダー、ヘアカラスプレー等）をつけたまま検査できますか

A：材料に鉄粉や金属成分が含まれていることがあり、やけど・MRI 装置故障の恐れがありますので、検査当日は使用しないでください。

Q：DWIBS 検診で、脳腫瘍や脳梗塞はわかりますか。

A：DWIBS 検診の撮像範囲は、頸部から骨盤部になります。脳全体は撮像しませんので、検出できないものとご理解ください。別に脳ドックを受けることをおすすめ致します。

Q：DWIBS 検診で、がん以外の病気もわかりますか。

A：がん以外に炎症を起こしている部分などが見つかる場合があります。

当院の DWIBS 検診では、約 20 分の撮像で DWI（拡散強調画像）だけでなく、画像診断に必要な全身の T2 強調像と全脊柱（頸部から骨盤までの背骨）の T1 強調画像という画像も撮像しています。肝のう胞や腎のう胞、大腸憩室、子宮筋腫などがみつかる場合があります。

Q：DWIBS 検診では、すべてのがんがみつかりますか。

A：すべてのがんが見つかるわけではありません。

がんの大きさや特徴、検査における得意不得意などにより発見できないことがあります。そもそも小さながんを含めてすべてのがんを発見できる検査はありません。

PET-CT も DWIBS も脳腫瘍は検査対象外となりますし、PET-CT は尿路のがん（腎がん、腎盂尿管がん、膀胱がん、前立腺がん）が苦手とされ、DWIBS は肺や精巣のがんが苦手とされています。